

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

Meets + Design

カシュカシュの森～お菓子の森でかくれんぼ～開催



クリエイティブな交流イベント「Meets+Design」。今回は、お菓子：林周平（パティスリーモンブリュ シェフパティシエ）×イラスト・空間演出：サタケシュンスケ（イラストレーター）のコラボレーションで、地域ごとに特色のあるフランス地方菓

子を、親子で楽しめる企画を開催します。かわいいイラストのどうぶつたちの道案内で、「カシュカシュ（Cache Cache。フランス語で「かくれんぼ」「隠れ家」の意）の森」にかくれたお菓子を探し出しましょう。おみやげ付きなので、お家に帰っても楽しみが続きます。

| 日時 | 平成 27 年 2 月 19 日 (木) 18 時～20 時 (開場 17 時 30 分)

| 会場 | KIITO 1F カフェ | 参加費 | 1 組 (2 名) 3,000 円 (お菓子、ドリンク、おみやげ付き)

| 定員 | 20 組 40 名 (大人と子どもの 2 人 1 組でご参加ください。子どもは小学生以上 / 事前申込み制、先着順)

| 申込み | 平成 27 年 2 月 6 日 (金) 11 時からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | 林周平 (パティスリーモンブリュ シェフパティシエ)、サタケシュンスケ (イラストレーター)

●講師プロフィール

林 周平 (はやし しゅうへい) / パティスリーモンブリュ

1965 年生まれ。国内のホテル勤務後、渡仏。パリ「ニッコー・ド・パリ」「ジャン・ミエ」で修業を行い、帰国後ホテル・パティスリー製菓長に就任。神戸の地でフランス菓子文化をより深めたいと考えている。<http://www.montplus.com/>

サタケシュンスケ / イラストレーター

1981 年大阪府枚方市生まれ 兵庫県神戸市在住 広告制作会社勤務のグラフィックデザイナーを経て 2007 年に独立、以後フリーランスのイラストレーターとして活動続ける。主な仕事は広告、書籍等で使用するイラストレーションおよびキャラクターの制作、モチーフは人物や動物、静物画が中心。大学や専門学校などで特別講師として講義などを行うほか、イラストレーターユニット"なりゆきサーカス"の一員としても活動中。<http://www.naturalpermanent.com/>

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお申しあげます。

KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2014 濱口竜介

映画『ハッピーアワー』編集ラッシュ公開上映 開催



「KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2013『即興演技ワークショップ in Kobe』」の成果発表から1年。ワークショップ参加者をキャストとし、KIITO や神戸市内を主なロケ地として、2014年5月から12月まで、8ヶ月にわたる映画撮影が終了しました。その成果発表として、編集ラッシュ公開上映を開催します。完成映画とは異なり、撮影された映像素材を脚本に沿う形に編集することで、6時間弱というひとつの物語を持った映像としてはじめて提示します。映画制作の一プロセスを覗いていただく機会となります。また上映終了後には、濱口竜介監督、ゲストの港千尋氏、モデレーターの芹沢高志によるアフタートークも行います。

| 日時 | 平成 27 年 2 月 21 日（土曜）13 時～19 時（途中休憩あり、途中入退出自由。）

アフタートーク 19 時～20 時 ※終了時間は前後する可能性があります。

| 会場 | KIITO 1F KIITO ホール | 参加費 | 無料 | 定員 | 80 名（事前申込み制、先着順）

| 申込み | 平成 27 年 2 月 6 日（金曜）11 時からウェブサイト（<http://kiito.jp/>）にて申込み受付開始

| アフタートーク | 出演：濱口竜介、港千尋、モデレーター：芹沢高志

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

●講師プロフィール

濱口 竜介（はまぐち りゅうすけ）／映画監督

1978 年、神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科の修了制作『PASSION』がサン・セバスチャン国際映画祭や東京フィルメックスに出品され高い評価を得る。その後も日韓共同製作『THE DEPTHS』（2010）がフィルメックスに出品、東日本大震災の被災者へのインタビューから成る『なみのおと』『なみのこえ』、東北地方の民話の記録『うたうひと』（2011～2013/共同監督：酒井耕）、4 時間を越える長編『親密さ』（2012）、染谷将太を主演に迎えた『不気味なものの肌に触れる』を監督するなど、地域やジャンルをまたいだ精力的な制作活動を続けている。

港 千尋（みなと ちひろ）／写真家、映像人類学者

1960 年神奈川県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授。あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督。群衆や記憶など文明論的テーマをもちつつ、研究、作品制作、展覧会、出版、キュレーション等、幅広い活動を続けている。著作『記憶—創造と想起の力』（講談社/96 年）でサントリー学芸賞、展覧会「市民の色」で伊奈信男賞を受賞。2006 年釜山ビエンナーレ共同キュレーター、2012 年台北ビエンナーレ共同キュレーター、2007 年ヴェネツィアビエンナーレ国際美術展日本館コミッショナー。

芹沢 高志（せりざわ たかし）／デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長

1951 年東京生まれ。1989 年に P3 art and environment を開設。1999 年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。2014 年より東長寺対面のビルにプロジェクトスペースを新設。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展「デメテル」総合ディレクター（2002 年）、横浜トリエンナーレ 2005 キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター（2009 年、2012 年、2015 年）などを務める。2014 年、さいたまトリエンナーレ 2016 のディレクターに就任。

お問い合わせ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

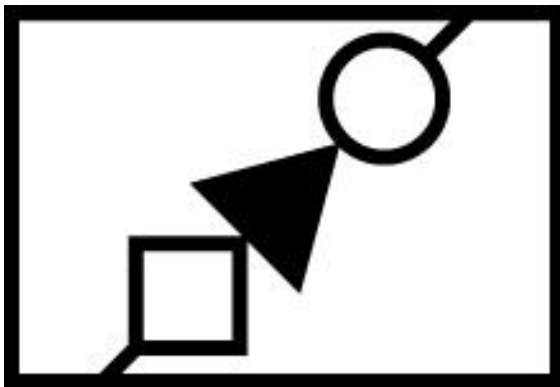
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日（祝日または振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29-1/3）

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年2月から開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

+クリエイティブゼミ vol.14 デザイン編

発想のスタートライン 開催



デザインをする際、対象をどのように把握するかによって、発想の行く末に劇的な差が生まれます。デザインと社会の関係性が多様化した現在、デザイナーに求められるのは「かたち」を具現化する技能とともに、「何を」「どのように」作るかを考える力です。手を動かし始める前に、あらゆる角度から対象を観察してみることで、デザインが向かうべき標的がみえてきます。今回の+クリエイティブゼミでは、「発想のスタートライン」をキーワードに、デザインを導く道標となる観察の力について、参加者の方とともにじっくりと考えていきます。

| 日時 | 平成 27 年 2 月 25 日 (水) ~ 3 月 25 日 (水) 19 時 15 分 ~ 21 時 全 5 回 (毎週水曜)

| 会場 | KIITO | 参加費 | 2,500 円 (全 5 回通し)

| 定員 | 25 名 (事前申込み制、先着順) | 対象 | デザイナー、学生

| 申込み | 平成 27 年 2 月 6 日 (金) 11 時からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | 近藤 聡 (グラフィックデザイナー / 明後日デザイン制作所)

久慈 達也 (デザイン・リサーチャー / DESIGN MUSEUM LAB)

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

●スケジュール

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 第 1 回 2 月 25 日 (水) | オリエンテーション: オリエンテーション / 前提を点検してみる |
| 第 2 回 3 月 4 日 (水) | ワークショップ 1: 逆転 / 反対から見直してみる |
| 第 3 回 3 月 11 日 (水) | ワークショップ 2: 共通項 / 似ているものを置き換えてみる |
| 第 4 回 3 月 18 日 (水) | ワークショップ 3: 収集と分類 / 集めて見渡してみる |
| 第 5 回 3 月 25 日 (水) | ワークショップ 4: 分節化 / 言葉を分けて考えてみる |

●講師プロフィール

近藤 聡 (こんどう さとし) / グラフィックデザイナー (明後日デザイン制作所)

1976 年大阪府生まれ。神戸大学発達科学部卒業、IMI (インターメディアム研究所) 卒業。明後日デザイン制作所代表。解くべき問題の発見を重視し、グラフィックを中心としたデザインによる解決を目指す。神戸芸術工科大学、京都造形芸術大学非常勤講師。 <http://astt.jp/>

久慈 達也 (くじ・たつや) / デザイン・リサーチャー (DESIGN MUSEUM LAB)

1978 年、青森生まれ。東北大学大学院国際文化研究科博士課程中退。社会の表象としてのデザインプロダクトに関心を持ち、展覧会企画や執筆を行う。神戸芸術工科大学非常勤講師。 <http://dm-lab.com/>

お問合せ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお申しあげます。

神戸珈琲学 VOLUME.2 学問編

From seed to cup 開催



珈琲にかかわる様々な方を講師として招き、珈琲を基礎から学び、楽しむための知識を身につける「神戸珈琲学」。VOLUME2となる今回は、松本真悟さん（株式会社マツモトコーヒー）と三木和彦さん（石光商事株式会社）を講師としてお招きし、珈琲農園やバイヤーが長い年月をかけて行なった品質向上の努力によって誕生した「スペシャルティコーヒー」という新たな価値観の根底にある考え方を学ぶレクチャーを開催します。また、講師のお二人が直接赴いた珈琲農園のお話や、現在進めている取り組みについて、これからの珈琲文化がどのように変化してゆくのかななどを、珈琲の試飲を行ないながら対談形式でお話しいただきます。

| 日時 | 平成 27 年 3 月 1 日（日曜）13 時～15 時 | 会場 | KIITO 1F カフェ

| 参加費 | 1,000 円 | 定員 | 40 名（事前申込み制、先着順）

| 申込み | 平成 27 年 2 月 6 日（金曜）11 時からウェブサイト（<http://kiito.jp/>）にて申込み受付開始

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | 協力 | 株式会社マツモトコーヒー

●プログラム

1. 農作物としての珈琲

- ・コーヒーノキの栽培地域や品種について

2. 珈琲と流通①

- ・収穫から生豆になるまでの工程について
 - ・生豆が生産国から日本に届くまで
 - ・日本に届いた生豆がカップに注がれるまで

3. From seed to cup

- ・トレーサビリティとサスティナビリティ
- ・スペシャルティコーヒーが台頭してきた背景

4. 珈琲と流通②

- ・生産国による流通経路の違い（ブラジルとインドネシアの比較）
- ・流通の違いがもたらす、精製方法や味わいの違い

5. これからの取り組み

- ・From cup to seed
- ・生産地と共に味を創る

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日（祝日または振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29-1/3）